

令和6年5月23日（木）18：30～

白山高等学校 会議室

1. あいさつ

ご挨拶申し上げます。皆様こんばんは。お仕事でお疲れのところ白山高校にようこそお越しいただきました。これまでの二年間、学校運営を行うにあたり多くの地域の方々から支えられていることを実感するとともに、新型コロナウイルス感染症のことを心配してなりましたけども一層充実させた事業により、今年度の高校入試では久々に入学定員を満たし80名の新入生を迎え総勢218名の生徒と29名の教職員でスタートしております。

入学当初の新入生に実施したアンケートによりますと、白山高校に入学して良かったとの問いに「とてもそう思う」「そう思う」とおよそ95%の生徒が回答しています。学校生活に慣れず不安に感じている新入生もいるようですが、「毎日が充実している」「友達ができた」「人から学べる」「授業を受けやすい」「授業が丁寧でわかりやすい」との結果が出ています。

この気持ちを大切にしながら日々の学校教育活動を行ないたいという様に思っております。

また上級生は白山高校の生活を一層充実させているようです。後ほど担当から学校の現状について説明があると思いますが、私からももう少し簡単に触れたいと思います。まず部活動についてですが、今年度の部活動の加入状況は昨年度並みの約6割の生徒が加入しており、積極的に取り組んでいる様子です。

今週末より高校三年間の集大成である三重県高等学校総合体育大会、県総体と呼んでおりますが、県下各地で始まります。

昨日は体育館に参加部活動の生徒を集め壮行会を開き全校生徒で激励したところです。活躍を期待しています。

それから6月9日には来月ですけれども家城地区の方々と学校が協力して行う清掃活動家城地区クリーン作戦と称してこの地域の清掃活動を実施して実施します。お世話おかけいたしますけれどもよろしくお願いいたします。

さて本校の今年度の目指す方向性は昨年度の学校運営協議会でのご意向も踏まえ、これまで通り生徒一人一人に向き合い基礎学力の向上、規範意識の向上、地域との連携推進を一層進め生徒の夢が現実的なものとして実現できるような学校でありたいと考えております。

そのためには学校・家庭それから地域の皆様との協力が不可欠と考えています。重ねてご協力をお願いします。詳細は後ほど令和六年度学校マネジメントシート、これも県下で統一されている学校運営に関するシートなんです、それを用いて教頭より説明をいたします。

それから現在の白山高校の生徒が学校活動に熱心に取り組む真の姿を中学生に知ってもらってはどうかとご意見をいただきました。

今年度も白山高校のイメージをアピールして行きたいというふうに考えているところです。

これまで実施してきた中学三年生の保護者対象の説明会が松阪市、こちらでお借りして夕方に実施する予定というふうに考えております。生徒たちも多くのポスターを作ってくれましたので、こういったものを利用しながら。それからまたホームページの方をリニューアルしました。ご覧頂けると幸いです。

話が長くなりましたが、今年度多くの中学生保護者が白山高校の取り組みを理解の上入学し充実した学校生活を送れるよう、皆さんの知恵と力をお借りしながら取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

この学校運営協議会の役割を簡単に説明しておきます。この協議会は保護者や地域住民等白山高校の学校運営への参画や協力を促進することを主とする三重県教育委員会が設置する協議会になります。全国の小中高学校では実に4割を超える多くの学校が取り入れているというふうに聞いております今更ながらですけれども地域との連携した教育が私は必然であるということだと思ひこういう風な結果になっているのではないかと思います。

また本校の学校運営協議会の会則等は本日の資料の9ページ以降に記載してありますので後ほどご確認いただければと思います。

それではですね開かれた学校づくりが推進できるようにご協力を重ねてお願いいたし私のご挨拶といたします。よろしくお願いいたします。

2. 委員自己紹介

～自己紹介～

本日のオブザーバー：教育政策課より松井主任
高校教育課充指導主事

三重県教育委員会 笠井 様 挨拶

先ほども申しましたように白山高校にはすごく思い入れがあります。本当にいろんな教育課題があるなということを実感しています。白山高校の生徒も、どこの学校もそうだと思うんですが、すごく生徒は多様化していると思っています。そういった多様化している生徒に、どのように教員が関わっていくかということも課題だと思いますし、また、少子化が大きな課題であると思っています。つい先日も新聞で白山高校の白山地域の小学校の統合についても上がっておりましたが、これからの大きな課題かなと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上です。

3. 協議事項

全体進行：事務局 西園

協議事項進行：運営協議会会長

(1) 令和6年度 会長と副会長の選出について

引き続き、会長 吉田 健一さん 副会長 岩崎 忠弘さん。承認。

挨拶 吉田会長

なかなか 難しい問題課題に直面しながらなんとか12年間、皆さんのお力添えのもとで、いろんな協議もさせていただきました。保育の関係の法律が変わるだろうと、いう話を聞いております。また子供さんを取りまく部分に関して行政の立場として情報がありましたら、こちらにフィードバックさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

挨拶 岩崎副会長

私も白山高校の卒業生です。やはりこう母校の発展というのが一番。気にかかるわけです。特に最近、少子化で生徒が非常に少なくなっていく中で、学校の統合とか、あるいは廃校とかいった形が一番心配になるわけです。この協議会の中でやっぱり白山高校もこれから。続けていくにはどういう策があるのか、いろいろなことを皆さんの知恵をかりながら、白山高校の存続についてぜひよろしくお願いいたしますと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(2) 令和6年度学校マネジメントシートについて

・目指す学校の姿

地域を愛する若者を育成し、地域の活性化に貢献する取り組みを行う学校

・スクールポリシー

夢の実現へ。あなたの好きを見つけよう

「今」白山高校で学んでくれている生徒たち。そしてこれから白山高校へぜひ入って頂きたいという生徒たちに何を一番伝えるか

白山高校にきて自分の好きをさらに見つけている子に対してもっともっと磨きをかけていただきたい

●グラディエーションポリシー

- ・ ありがたい教員の姿

本校職員が一丸となって、この子たちをどう育てたいかという部分をしっかりと連携を取って。そういう学校に行きたい

- ・ 生徒の学校生活アンケート

9割の生徒が学校生活に満足しており、学びなおしの授業による基礎学力の向上資格免許取得の支援に期待する声

自己肯定感がなかなか高くない生徒→しっかりと教員が見守りながら対応

- ・ 求める生徒像

学校生活や学習活動地域に根ざした体験学習

インターンシップ等：この地域に愛される学校であるとともに、子供たちが地域の皆様と、一緒に学べるということを大事に

お悩み相談：いろんな地域の問題を解決する

生徒が近くお宅にお伺いして掃除、悩みの解決→生徒は地域の方と交流できることに喜びを感じている

- ・ スポーツ文化活動

実績ある能力ある生徒も、ぜひ白山高校でさらに力を伸ばしていただきたい

- ・ 生徒会活動、ボランティア活動

積極的に活動→そういった学校にしていきたい

- ・ 確かな学力と規範意識

後ほど各部から説明

- ・ 地域とともにある学校づくりの推進

白山高校は地元根付いた。教育活動ということをしっかりしていただいている

この2ヶ月でございますけれども感じている

職員からもお話聞かせてもらえる

地域の方でちょっとお店に入ったり、街ゆく方々と話させていただいた

キャリア教育の一環として、地元根付くという部分を大事にしていく

- ・ 生徒のための教職員組織づくり

子供達をどういうふうに伸ばすかという部分の中で教職員の働き方改革という部分も今大きな問題になっている

掲げたことをしっかりと実現して行きながら、風通しの良い職場雰囲気作り

お互いがしっかりとダメなものはダメ、そういえる職員集団に

子供たちを教育していく、子供たちをどう育てたいかといことがバラバラでは学校は一枚岩にならない

校長のリーダーシップをもとに、教頭が先生方とコミュニケーションを取りながら、しっかりとやっていく

7ページまでざっと説明、至らぬところは学校長から補足

学校長より

多様な生徒への対応：少人数教育を推進、やはりこの白山地域にこの学校があるのだというところから地域と連携しながら本当に地域の方々のご協力いただけている想いがある

ご協力いただきながら、こちらでもできるところについてはおかえししていきたい

そんな想いで子供たちを育成したい

最終的に、三年間の学びのあとそれぞれの進路を実現したい

【ご意見・ご質問】

●9割のかたが学校生活満足されているなかでの1割について

先生がたが、具体的にどのような取り組みをしているか？

1割といえども、本当に大事な生徒さんだと思う

個別教育だったり、具体的にどういう対応されているのか？

(学校)→9割の生徒が満足という部分について

満足しているしていないに関わらず 昨今、多様な生徒がいる

満足やさらなる満足につながるように

- ・保健部に定期的なスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの来校
- ・保護者の方にもお悩みがあれば。スクールカウンセラーの面談等の取り組み
- ・各教員、特に担任が中心に授業やSHL等
- ・子供たちを直接見る部分と間接的に遠くから見る部分で気づいたことはとにかく報連相
- ・相談をしっかりとしながら、後手後手にならないようにということが一番
- ・毎日生徒と先生方が近い距離でコミュニケーション

子ども達がやっぱ本当に満足しているかしてないかは授業とまた担任をしてもうらっている先生方が一番わかる→そこから校長と教頭が、先生達から情報をしっかりと共有して学校として取り組めるようにしていく。

●地域にねざしたというところ

白山地域のことを生徒さんがどこまで知っているか？

清掃活動もあり、何か伝統的なものはないんですか？みたいな感じで関われば

本当に地域を見た時に住民の方々がどんだけの人って本当に困ってる人っていうのは知っているのか？

ディープな世界やその辺まで踏み込むような 形っていうのはあるのかどうか

(学校)→地域の部分について

地域のお悩み相談

「やまちょう」さんからのお手紙

授業が始まったばかりの為、件数としては二軒三軒だが、困っていることについて

夏休みに高校生の生徒に勉強を見てもらいながら、子供と触れ合ってもらいたいかなという生の声

近くのお年寄りが携帯がないと困る、足も自由にならない、何か急なことがあっても困る、

→でも、それがうまくつながらないので、どうしていいかわからない、助けてくれないかという声

本校の職員と生徒が授業の中で行き、我々も知らない事というような子どもたちのネットワークが多かった

通信会社にすぐ電話をして電波が続くようにして代替機をもって生徒が僕がセッティングします

この電話がないと命に直結する、それを高校生の子たちがしっかりとやってくれた

今言われたディープの部分まで本当に入らせてもらっているのか逆に我々心配あるが、数は少ないが、そういった形で少しずつ子供たちが地域の方としっかりと交流できるというのがこの何年間の白山高校の成果ではないか

補足：塩谷先生→白山観光学、

家城の活性化委員会での話し合い

レンタサイクルの利用など、もっと家城地区に人が来てもらうためにはどういったことができるのか

他の地域に行った時の出来事、色々な見所があるがルートがわからない（どう回って、そのルートがどのぐらいの時間で回れるのか）→看板に QR コードを読むと、自分のスマートフォンに Google マップの中にルートが出てきて表示させる→それに沿ってこうずっと街を歩いて行くということがあった

それを家城地区でもできないか

名松線は 1 時間に 1 本 2 時間に 1 本というような間隔でしか電車が来ない

じゃあその間にこう回って家城を見て回れないか

観光のルートを色々な所を高校生の目線で、見て回って紹介をしてというようなものを作って駅に置くとかいうことは出来ないだろうか

それをレンタサイクルで回るようなルートを作れないのか

後日フィールドワークへ、生徒達とルート探しへという企画

商業部での大型備品購入→イベントの時に使えるようなもの

商業の情報コミュニケーション科の生徒→自分たちで企画から出店、 イベントによる成長

家城の文化祭に参加させてもらったりと地域の方たちによくしていただいて、高校生も本棟に成長できていると実感してる。

（学校）→2 点のご意見に対して

本校の職員。本当にきめ細かく。子どもたちだけでなく、保護者の対応をしっかりとしている。

満足の 100%が理想、そこにつながるように精進していきたい

●今年のインターンシップ事業者の協力業者はもう確保できているのでしょうか？

（学校）→今年度の取り組みについて

昨年度のうちに、昨年度 10 月ぐらいに事業所の方に来年度も引き続き。インターンシップの受け入れ、 どうでしょうかということを聞いております

その回答も昨年のうちにいただいている

昨年度、受け入れていただいた 15 の事業所に加えて、今年度は新しく ファミリーマートの向かい側の武田商店さんも新しく受け入れていただける

今年度は 16 の事業所で。今の 3 年生がお世話になっている

今年度：金曜日の 5・6 限目の午後の時間に実施、明日が 2 回目

●家城地区以外にももう少し遠いところで行ってみるパターンもありますか？

（学校）→インターンシップのエリアについて

徒歩圏内で行けるところがほとんどですが、4 つほど電車を使用している

隣の駅で降りるレストランみそのさん、マックスバリュの川口店さん

もう少し進んで一志駅から降りる、マックスバリュの一志店さん、わんわん美容・モールさん

いただいた意見とこの後またいただくご意見もしっかりと検討させて頂いて学校経営にいかしていきたいと考えます。ありがとうございました。

（3）令和 6 年度白山高等学校学校運営協議会年間計画について

- ・ 昨年度末には 4 回予定

・本年度学校長と相談、昨年も 7 月に設定→大きく学校の方針とか教育課程が変わらない限り、7 月は実施しない

・本年度、教務とも相談→大きな方向転換は考えていない

第 1 回：本日の 5 月 23 日 6 時半から開催

第 2 回：11 月 16 日土曜日 13 時半から 15 時の間に開催

白山高校文化祭日

文化祭をご覧いただきながら。少し会議形式のかたちで本校の学習活動の報告

生徒と保護者等からアンケートの報告

第 3 回：3 月 6 日 18 時半より開催

1 年間の反省、次年度の学校マネジメントシートに向けた協議。

次年度の教育課程の承認等

[案内]

6 月 9 日日曜日 8 時 45 分から 9 時 45 分

南家城地区のクリーン作戦に生徒と共に参加

現在 4.50 名の生徒が参加予定

11 月 15、16 日：白山高校の文化祭

16 日だけでなくお時間があるようでしたらお声かけいただければ。15 日も参加いただけます

【ご意見・ご質問】

●南家城地区クリーン作戦について

大変楽しみにしております

去年はあいにく天候が悪かったが、白山高校の生徒さんが参加、家城駅の花の手入れとかしていただきまして。ありがとうございました。

明日、スムーズに作業できるよう。また、お伺いしようと思います。

●白山の文化協会の文化祭

毎年 2 月に行われている

文化祭で抹茶の先生、茶道部の生徒さん、校長先生が奥さんともきてくれた。

今回 20 名ほど連れて行きまして、本当にメディアさん、大変喜んで報道もありました。

お茶のところも大分 PR していただきまして本当にありがとうございました。

●白山町の文化協会による「我が町の自慢」投稿

白山文化協会で各市町村集まりまして連絡協議会を津市の組織でやっている

今年白山町の文化協会が我が町の伝えたい、我が町の自慢というものを投稿するように

これはチャンス！下克上球児の育った町ということで、原稿を投稿

白山高校 18 名で優勝し、甲子園の一塁側を緑でそめたことを中心に。家城地区ものそれに便乗して活性化したということを投稿

それを校長先生からよんでいただきましてご覧頂きましてありがとうございます。

私も白山高校の卒業生でございますので何かのかたちで少しでも。お役にたてるなら光栄だと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。

(学校) いろいろありがとうございました。学校教育は当然、教師が教室で授業を行う。私たち教師になったときは、黒板を使ってなんとか教え込むというスタイルでした。最近では、I C Tなどを使いながら昔の雰囲気とは違う授業を行うようになってきています。

それを使いこなすというのも、教師の求められる能力となっているところです。しかし大事なことはやはり教室だけでは不十分じゃないかなというふうに思います。もちろん同窓生という言葉があるように、同じ年代の子供たちが同じ場所で学ぶということ、ひとつ、誤解のないように聞いていただきたいんですけども、今は必ずしもそうでない場面もありますので、やっぱりそういうことが大事なのかなと思います。

さらにさらに大切にしていかなければいけないということは。やはり高校生活を終えたら社会へ旅立ちます。それは大学であったり短大専門に通じる場合もありますが、いずれにしてもそういう形になりますので、その際やはりどうしてもコミュニケーションを取っていかなければならない異年齢の方々との交わりだったりとか、そういったところでもできるように、学校教育で担っていかなきゃいけないのじゃないかというふうに思っている。

今も話題にしておりますが、インターンシップという形でそういった方々との触れ合いが。やはり校舎を出て学ぶということが非常に大きな意義があるというような実感をしております。

非常に温かい言葉をいただきましたので、ちょっとお話ししたくなりまして。お話させていただきましたが、私たちも本当に子供たち育成に、本当にご協力いただいて感謝しています。

● 1年間の計画ということなんですけれども、今後どうなるのか？なにか長期的な10年先20年先をどうするかと、話し合えたらいいと思う。

● 2018年本当に町全体が甲子園行ったんじゃないかというぐらいの大騒ぎだった

今のインターネットなどでも前任の先生がいかれた大台町に持っていかれるようなイメージ

なにかここに高校の応援、野球応援とか

部活動は野球だけではないので、そこに特化する必要もないかなと思いながら

ドラマ化のとき。タイミングがあったので。

結構運営協議会の中でも高校野球盛り上げていこうみたいな話題も

ここが白山高校の地元ということはやっぱりPRしたかった

過去のことだけでなく。これから十年先、どうしていくか

野球に限らず陸上であったりとかバスケットだったりとか

それこそ白山高校から世界に飛び立った選手を応援やるとか

そういうのがあれば、なおさらネームバリューになるのかなと思う。

今のゼロ歳児の子たちがどのぐらいのこの地域にいるかというふうに考えていくと分かる。

15年間あるので、そこまでこう活性化できればなどあればいいかな、難しいところもありますけど。

(学校) ありがとうございます。会社様に言っていただいたように4月から赴任させていただきました。

前任校は大台町のすばる学園でございます。

なぜ私がここへ赴任をしたのかは分かりませんが、本当に縁を感じます。

私にできることも職員とたくさん話をする中で、今、野球部の顧問とたくさん話をしています。

・やはりもう一度あの場所へ、もう一度あの場所へって合言葉で顧問は頑張っています。

そこに。野球部だけじゃなく今おっしゃった。ほかのクラブも野球部に続け、追い越せというメラメラと顧問が闘志を燃やしています。

・五年、十年、中学校さんとの交流も大事だが、インターンシップで行かせて貰っているっていうのがまさにそうである。

ようやくすばる学園もですね。他校のことですけども、 小学校のころすばるのお兄ちゃんお姉ちゃんに憧れて中学校になったらすばる行きたいなというのがようやく花開いてまいりました。

・高校としては、目先の中学校ってということだけにとられるのではなくて、小・中ここにしっかりと五年、十年後、20年後、白山高校がやはり地域に愛されて、絶対に必要な学校であるっていうことにする為には、我々教員が今いる生徒たちを大事にする事は勿論、この生徒たちをとうして、小学生中学生に対してどんなメッセージを与えていくか。

そういった意味では商業の分野ではいろんな所へ出て行きながら、失敗してもいいから、子供たちと触れ合いながら子供たちをサポートしながら。どんどんイベントをうっていこうというようなことも話し合っている。

- ・他の教員とも話をさせてもらいながら、今の子供たちを大事にしながら、五年先、十年先。
- ・そのキーワードはやはり小学生にあるんじゃないか
- ・もっていかれているならこっちへ持って帰そうともう闘志メラメラでやっております
- ・皆さんから叱咤激励いただいて、盛り上げたいと思っています
- ・いろいろご助言頂けたらありがたいと思います。

(司会) はい。15年スパンでとのこと。なんかそういうので小学校の目線から何かありませんでしょうか。

●校長としても、 教員としてもやはり子供たちがこう目を輝かせて学んでいる姿、これをみるのがもう教師冥利につきる

そういう学校でありたい

・白山高校も何とか。盛り上がらないかみたいなことを考えたり、いろいろしながらこう通っている次第だが、やはりこうそういう子供達が輝く姿をこう見せていただけることが、何よりも周りにとっては、魅力的な学校なんだなという風に感じることができる

- ・まだ1回だが、非常に好感の持てる子たち。

ちょっと思わず僕がファンになったぐらいの。

そんな社会に出ても充分通用する生徒さんを育てていただいているなと言うふうに感じています。

●今年度から白山の方に赴任させていただきました。こちらの方に来るのは本当に初めてで、それまで一志でストップした形で、毎日過ごしていました。

- ・白山中学校の現在の様子としては、とても子供たち落ち着いてとてもよく頑張っています。
- ・白山高校さんと卒業生含めて。お世話になっているが、先生方、本当に丁寧に指導していただいているって姿は子供達から聞いていました。
- ・そういう子供たちに向き合う大人の私たち、大人自身の姿も。成長にとっても大事
- ・今現在白山中学校で2か月ほど経ちましたけど、先生方すごく一生懸命丁寧にやっています。
- ・白山高校含めて中学校含めて、育てていくという意味では連携していただきたいなと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

●本当にいま子供の数が少なくなっている。

- ・白山の中でも小学校の子どものやり方について、色々こう議論が進んできた。
- ・高校生の子と小学生や中学生とのふれあいとか、地域の方とのふれあいを白山高校さんは本当にほかの学校にはない事をしてもらっているんだと感じる。
- ・社会人になっても何年も経つが、社会に出ていろんな方との触れ合いが子供たちを育てる。
- ・社会の中での育ち方っていうのは大切。

●もう十5、6年かな、その頃はですね、正直、大丈夫かなこの学校みたいな感じだった

・今は大丈夫だと思う

・だんだんと関わっていく中で、どっかでターニングポイントがあった。雰囲気ガラッと変わった時があった。

・これはすごいなあ。変わりつつあるなあっていうのが実感できている。

・逆に。先生の顔色がだんだん悪くなってきた。

・マネジメントとか話をして、今新聞でいろいろその教職員の待遇改善とか、働き方改革っていう話がいろいろ出ています。

・その時に本当にその先生方が、もう時間度外視でやられているんだなっていうのはあった。

・先生顔色悪いね。いや頑張ってますね。頑張るのはいいんですけど、みたいなところで話したこともある

・ようやく働き方改革が取り上げられた、特に教職員の

・まだまだもっときめ細かいことが求められてくる。多様化している中で、またこれ逆戻りしないかな？

・ある記事見ると処遇待遇改善もいいんだけど、人を増やしてほしいということがやっぱり言われています。

・きめ細かくやるのであれば、人も大事だろうし、そこに携わる人が、ところがなれてがなくなってきた。

・文化祭や購買事業もそう。最初のころは授業崩壊みたいな、でももう最近全然そんなことない。すごく印象としてはよくなっていると思います。

・クリーン作戦にしても。結構、自主的に参加してくれていたり。嬉しく思います。

・先ほどファンという話がありましたけど、そう思います。

・ただ、先生方あまり無理しないように。身体あつての先生です。そこはよろしくお願ひしたい。

●絶対不可能だとは思いますが、一般論ですごく気になっていること

・福祉と医療は繋がっている

・教育と医療と福祉が繋がればもっとよくなるなと常々思っている

・文科省と厚労省とあるので、その辺で難しいかなと思う

・去年夏、毎年いろんなところで各地で大会はだいたい文科省でやられていると思う。

・その後にある全国障害者スポーツ大会という障害者の大会は、平成25年までは厚労省が管轄でずっとされていたが、今文科省の管轄でやっている

・福祉の分野に文科省が参入していく。当然、障害者の選手たちはもう、社会参画とかではなくアスリートとして扱われるようになった。

・それは本当に垣根にちょっと触れたかなっていう気がする

・地域でやっぱり学校出て高校まで卒業されているのに、どうしても地域で福祉の力を借りなければならない方々ですごくいっぱいいる。

・学教育の間にその福祉っていう部分、医療っていう部分、それがもっと参入できれば

・将来的に引きこもりや離職者が多数出るとこんだけ人材不足、人手不足っていうのに、ひきこもりの方とても多いのが事実。

・生徒の思春期とか、その成長過程にそういう専門的な知識で支援っていうのがいれば、多少将来的に減ってきて。社会にも活躍できる。

・障害者雇用やったりですね。そういう部分で活躍できる。

・将来生きにくいではなく、自分の居場所があるっていう所を作っていくことによって、この地域の活性化になる。

・暗い雰囲気ではなくて、そういう障害者雇用もやっていますよ、連携してますねみたいな、そういうのができればいい。

(司会) ありがとうございます。皆様のご協力をお願いすることがあると思います。今後ともよろしくお願いします。では、その他について皆さん何かありますでしょうか

●今後の白山高校はなるんだと思ったが、私たち卒業生にしても、卒業した学校がなくなるということは非常に寂しい。

・特に こういった山間部の方は、やはりなくなると地域の活性化が非常に難しくなるというようなことが現実だと思います。

●それでは白山高校が今後そういったことにならないようにしたらどうすればいいか？

・やはりこれは地域の皆さん方の協力を得ないとなかなか難しい。

・そのために地域との交流とか、理解してもらうとか、そういったリアル運動。それが一番大事。

・地域と直結したこと高等学校のあり方、それを今後どういうふうに追求していくか、それによって地域の皆さんの理解を得ながら、白山高校を存続する方向にもっていく。

・一番問題は一志病院から名松線、白山高校この三つが大きな心配事。

・例えば、名城線がなくなった場合。それに伴って、やはり病院も通う交通機関がなくなれば減少する。ということ。

・高齢者が高齢社会になった時に。地域の医療がないと非常に大変なことになる。

・やはりは白山高校のありかたを今度どのようにして行くということが、非常に大きなテーマではないか。

・そういった事をするにはどうしたらいいかということを、協議会でも協議しながらして行きたい。

(学校) ありがとうございます。

・白山高校の PR ということについてはしていかないとけない。

・この学校の取り組みをまだまだ皆さんに周知できていないんじゃないかっていうところがある。

・うちの校区は少なくとも、白山高校はこういう学校なんだということが分かってもらえるように努めていきたい。

(司会) はい ではありがとうございました。

(学校) 吉田会長ありがとうございました。連絡事項の学校の現状について、本日、総務部・教務部・生徒指導部・進路指導部の4つの部の主任に来ていただいておりますので、総務、教務、生徒指導、進路の順番に簡単でありますが、説明させていただきます。まず総務部さんお願いします。

<総務部>資料14ページ。プロジェクターでも提示。

1. 白山高校地域探究活動・白山高生が地域を盛り上げますについて

・令和5年度総合的な探究の時間

2年生：地域を学びとした探究コース6コース

3年生：ポスター制作。名松線勝手に応援隊(例年やっている、引き続き昨年度も実施)

こぶ湯もなか白山→ドラマで話題になったこぶ湯もなかとタイアップ、ポスター作成。

作成したポスターは家城駅で掲示したりInstagramで紹介。

・令和6年の取り組みについて

地域を学びにした探究活動、6コース設定

AからFコースでそれぞれの生徒達が動いている

地域のお悩み隊→InstagramにUP。野球部多数チームに奔走

近くのやまちょうさんに、お助け隊という看板を作っていただき、そのポストに
どんと困っていることを投稿してもらっている。

現在さまざまな悩みが寄せられてきている。

高齢の方の携帯電話のバッテリーをかえるというようなことも

担当の教員の話→そういった地域の困っている方々の力になれたということが生徒自身がすごく嬉し
かったと、目をか輝かせながら、次はこんなことしたら次はこんなことしたいって、
次の悩みはまだかみたいなのをどんととってきている。

- ・それぞれのコースで。地域が抱える課題について、自分たちなりに解決策を提示して行きたい。
- ・うまくいかないことも多々あるが、とにかくどんなところに課題があるのかということをしつかりと自分達で見つける。それからその解決。それを解決するためにどんな事ができるのかということをし、試行錯誤していく。
- ・このプロセスの中で、生徒たちは大きな学びを得ていく。
- ・生徒たち自身は、この地域に何か貢献をして行きたいという思いがとても強くあり、貢献することができると、私自身もうれしい。そして多くの学びを得る。成長も大きい。
- ・ぜひ皆様の中でも、次の課題やアプローチの提案など、アドバイスいただければと言う風に思う。

2. 白山高校の人権教育

・令和6年度の取り組み

人権LHR・人権講演会を各学期に1、2回実施予定。

1、2年生：「自尊感情を高め、自他の価値を尊重する意識をつける」をテーマにLHR予定

3年生：統一応募用紙の内容について

就職に向けて統一応募用紙という履歴書のようなものを作成

統一応募用紙については、さまざまな形を経て現在の形になった。というふうに考えている。

- ・例えば性別の欄を書かなくてもいいと様式が変更。

(書いても良いし書かなくてもいい)

- ・いろいろ経緯があって、今の形になったということを入権の観点から伝える。

2月に人権教育講演会予定：内容・講師未定

差別事象の解消に向けた取り組みについてを予定

これから現在の生徒間をしつかりと見守りながら、今の生徒たちにあつた人権教育とは何なのかというのを総務部の中でも探しながらやって行きたい。

<教務部>資料15ページになります。プロジェクターでも提示。

●授業の内容等

- ・現1学年・2学年：80名募集(3クラス展開)

少人数の実現・生徒にきめ細やかな対応

- ・授業：少人数・チームティーチング

生徒一人一人に時間をしつかり確保

例：(1)数学→少人数(9人)での授業実施

数学が苦手な生徒の質問にたくさん答える形

(2)商業→教員2人配置

コンピュータのトラブルも早く対応

- ・ユニバーサルデザイン（生徒にとってわかりやすい、伝わりやすい）の授業：教職員の共通認識

今、何をする時間かが明確になるような形。生徒に学びがずっと入っていけるような形での取り組み。

例：（１）号令→授業の準備物の確認→本日の目標定時→流れの確認→振り返り

その中で黒板を書く時間があったり。個別学習でペアワーク・グループワークというような活動

（２）３年生対象、総合的な探求の時間の授業プリント紹介

（３）数学授業プリントや授業の流れの紹介

- ・校内漢字検定の実施（年６回）

漢字の読み書きは生徒がどこにいても必要。一般的な読み書きを高校のうちに。

国語科さん主体で実施している。

約４０問から５０問

３年間で１８回分検定を実施し、国語力を高めていく。

- ・総合的な探究の時間

３年間を通して実施

１年生：一人一台端末クロームブックの使いかたを一から学んで、２年生３年生になったときの調べ学習に生かせるような形で勉強。

色々な機能を一つ一つ学ばせる→教員を２人配置しきめ細やかな対応

２年次に活動のまとめをＰＣ上でまとめる基礎的な力を１年生でみにつける

２年生：地域を学びとした探求コース６コース

地域に出て活動し、それを最後にまとめて発表予定

去年度→名松線の歴史を調べて発表、地域の悩み解決等

総務からの紹介があったので割愛

３年生：集大成

校外学習インターンシップに出て、一年間、事業所の方と一緒に職業体験

インターンシップの様子紹介：家城小学校

去年から小学校にとっても興味をもち質問していた生徒の様子

レストランみその

掃除や実際に調理にも携わらせてもらった様子

マックスバリュ川口店

棚卸のやり方を丁寧に教えてもらった様子

- ・多様な生徒に対するたくさんの学校設定科目、本校独自の学校設定科目

一部例：理科一般

危険物の資格の取得っていうのも、目指しながら、理科の知識についていろいろ勉強している

数学研究

数学検定という検定に向けての勉強と同時に、学び直しの授業というのあわせてやっている

- ・白山高校の目玉テーマ：基礎学力学び直し

英語と数学：マナトレという教材を使用

学び直しトレーニングの略、小学校中学校の内容高校生でもやっていく

そこでつまづいている生徒も多数いるため、しっかり復習して、今の勉強につながるような形でやって行く

基礎力診断テスト：年３回実施

成績会議：定期テスト年間５回実施後、テストの結果や普段の授業での生徒の様子を教員の中で情報交換し次に繋げていく

２学期：各興味関心のあるコース選択

各科目選択

普通科→普通類型 福祉類型

情報コミュニケーション科→メディア類型 観光ビジネス類型

<生徒指導部> 資料１６，１７ページ

・生徒指導部２名、生徒会２名の４名

３年前は７名いた。現有のスタッフでできることとできないことがある。

・特別指導について

今は友達関係やＳＮＳ指導等も必要になっている。

・遅刻指導については、回数で指導するのではなく、その都度担任の方からの説諭などで対応したい。

遅刻数

数字上は５年度は減少している。が、同じ生徒が繰り返し遅刻していた現状もあり、数字通りではいが、改善傾向にはある。

・現状の生徒について

各部活動に積極的に参加し励んでいる生徒も増加している

課題：服装・登下校時の交通マナー・交通機関での乗車マナー

毎朝の登校指導、月２乗車指導等

多様化する生徒の問題、年々みえにくくなっている現状

以前はなかった事案が起こりうることも予測し保護者や関係機関・教員と連携を密にし取り組んでいきたい。

<進路指導部> １８ページ～

・進路予定報告

福祉等、学んだことを生かして就職につなげる生徒も増えてきている

・勤務予定地域→地元志向が強い

・進学は、今年度高田短期大学が多い。

・最近のキャリア教育について ライフ・キャリア・レインボー

ライフキャリアとジョブキャリア ２つの教育をしていく。

・進路指導以外でも職業倫理、職業意識を育てていく

・社会人になるための不安を払拭、準備ができる学校づくり

・実践的な事例や実習のなかで生徒が自主的に学ぶ環境づくり

<質疑応答>

感想ですが 三重県教育ビジョンから 自己肯定感の涵養について

様々な地域の行事に参加し、地域の人たちから褒められてうれしいと感じる中で、忍耐強さも身に着けている。

先生方も励ましの言葉をかけながら、子供たちは次へ次へと進めていけているのかなと感じました。

<島田委員>

・若いうちから酒を飲んで、煙草をして、それは健康に悪影響である。これらを改善するための取り組みはどのように？

（学校）折に触れて、健康に触れるようなものに関する講演や声掛け、全体指導などは行っていきたいと思う。

（学校）昨今の生徒指導は、罰する指導ではなく寄り添う指導。問題行動が起きた時に、「なぜその行動が起きたのか」ということに関ししっかり時間をかけて掘り下げ、もちろんダメなものはダメと指導していくが、積極的なかわりで生徒たちが安心して生活していく。

（中北委員）

・小学校でも中学校でも、人権教育についてしっかり取り組んでいる。高校でも、教職員に向けても指導を行っていただきたい。

（学校）生徒に対する人権指導、今年度も教員の人権研修を計画している。

（田中委員）

・地元就職、地域に人材を輩出しているというのが素晴らしいことであると感じた。地元へ人材を輩出、家庭を築き、次の世代を築いていくという取り組みは素晴らしい。しっかりとアピールしていただきたい。

（吉田委員）

・この地域でも人権教育に関わる箇所などはあるか。

（中北委員）

・隣保館など様々な施設がある。子供達にはそういった施設に直接触れて学んでもらいたい。
・リアルに部落差別を感じることができる箇所はこの周辺にもある。これらから学ぶことなどあったら是非学んでほしい。